

# 伝統的銀行は他業種との資金調達競争に直面:3つのチャレンジ ピンチをチャンスに変えるには

銀証・銀商連携の深化を通じたオンラインサービスの拡充に可能性

## チャレンジ1:「貯蓄から投資へ」=家計の資産運用多角化の兆し

**高齢者**が家計資産の帰趨を握る  
→彼らからの信頼がある銀行は、証券との連携を深めれば、資産移動の主導権を握れる  
→高齢者がスマホ上のいつもの口座アプリから、銀行の助言を受けつつ、同一グループ内の証券会社を使えるようにする

## チャレンジ2:商業から銀行業への参入

顧客と永年取引してきた銀行はむしろ商業より情報優位にある  
→銀行側から電子商取引に参入できるようになれば、財務情報に購買行動に関する情報を合わせ、顧客のニーズをトータルに把握できるようになる  
→新サービス開発の可能性

## チャレンジ3:ステーブルコインの台頭

ステーブルコインはデペッグのリスクを克服できない  
→銀行はトークン化預金の発行により、新しい決済システムの中心に立てる  
(課題は銀行グループ間の相互運用性の確保)

## 望まれる政策上の対応

業種間競争→銀・証・商が連携したグループ間の競争へ:参入規制緩和

顧客のグループ間移動を保障:グループによる顧客情報の独占を規制

リテールCBDC発行:個人や企業に、どのグループとも取引しない権利を担保する(「デジタルサービス難民」発生を阻止)

## 留意点= 規模の経済性の深化

こうした大グループに移行できる数は限られ、別形態=対面サービス主体のビジネスに移行する金融機関との住み分けが必要になる。